様式第１５号（第５９条関係）

（表）

年　　月　　日

埼玉東部消防組合

　　　　消防署長　　宛て

申 告 者

住　　所

職　　業

氏　　名

電　　話

車両・船舶・航空機り災申告書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | り災年月日 | 　　　年　　月　　日 | り災物件と申告者との関係 | 所有者・管理者・占有者 |
| り災場所 | 　 |
| ２車両 | 運転者氏名 | 　 | 購入年月 | 　 |
| 用途別 | 　 | 購入金額（円） | 　 |
| 車両番号 | 　 | 年式 | 　 |
| 焼けた箇所 | 消火のためにぬれた、汚れた、壊れた箇所 | その他の損害を受けた箇所 |
|  |  |  |
| ３船舶・航空機 | 船長・機長名 | 　 | 船名・機名 | 　 |
| 用途・機種 | 　 | 購入金額（円） |  |
| トン数・最大離陸重量 | 　 | 就航年月 | 　 |
| 焼けた箇所 | 消火のためにぬれた、汚れた、壊れた箇所 | その他の損害を受けた箇所 |
| 　 | 　 | 　 |
| ４積載物 | 焼けた物件 | 消火のためにぬれた、汚れた、壊れた物件 | その他の損害を受けた物件 |
| 　 | 　 | 　 |
| り災物件との関係 | 所有者・管理者氏名 | 　 |
| ５火災保険 | 契約会社名 | 契約年月 | 保険金額（万円） |
| 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 |
| ※受付欄 |  |

（裏）

車両・船舶・航空機り災申告書記載要領

（１の欄）

　　１　り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

　　２　り災場所の欄は、車両などが火災になった場所を記載してください。

（２の欄）

　　１　用途別の欄は、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの

別を記載してください。

　　２　車両番号の欄は、陸運支局等から交付されている自動車検査証の自動車登録番号を記載してください。

（３の欄）

　　１　船舶・航空機のいずれかを○で囲んでください。

　　２　用途・機種の欄は、客船、貨物船、旅客機、練習機などの別を記載してくだ

さい。

（４の欄）

　　積載物の欄には、損害を受けた物の品名と時価に見積った損害額を記入し、り災物件との関係の欄は、申告者と積載物の所有者等が異なる場合のみ記載してください。

（５の欄）

　　１　火災保険の加入が複数ある場合は、すべて記載してください。

　　２　保険金額は、契約会社別に万単位で記載してください。

　　３　加入のない場合は「加入なし」と記載してください。

備　考

１　この申告書は、消防法第３４条の規定に基づき提出を求めるものです。

２　この申告書は、損害のあった物件ごとに提出してください。

３　この申告書は、り災した日から起算して７日以内に提出してください。

　　４　※印の欄は、記載しないでください。

５　この申告書の記載にあたり、不明な点がございましたら、下記連絡先までお

問い合わせください。

埼玉東部消防組合

消防署　　　分署・出張所

電話番号：